

SDCだより



SDCの皆さんと書間直未・書間康明

ひろま矯正歯科では、一般歯科担当の歯科医師、書間直未がスウェーデンデンタルセンターで弘岡秀明先生の研修を受けています。今回、衛生士の千田幸恵と鬼塚早希が同センターを見学しました。今号はその感想をご紹介します。

弘岡秀明先生とスウェーデンデンタルセンター

ひろま矯正歯科一般歯科担当歯科医師 書間直未

皆さん、こんにちは。ひろま矯正歯科一般歯科治療担当の書間直未です。

今回、「SDCだより」と称してご紹介させていただくのは、私が歯周病治療の指導をしていた弘岡秀明（ひろおかひであき）先生と弘岡先生の診療室「スウェーデンデンタルセンター」（以下SDC）です。

弘岡先生は日本の歯科大学を卒業後、普通の歯科医として歯科医院を開業され、約10年間診療を行なっていました。しかし開業当時の弘岡先生は、現在も多くの歯科医師が抱えている悩み、「どんなに精度を高めて歯を削り詰めたとしても虫歯や歯周病を予防するには限界がある事」を痛感し、当時の日本型の歯科治療に閉塞感を持っていた



科界にスウェーデン型の歯科治療を導入したパイオニアのおひとりと言え

そうです。そして、この状況を解消するために海外で研修を度々受け、当時世界でも著名であったスウェーデン・イエテボリ大学歯周病学講座教授のヤン・リンデ教授と出会いました。ヤン・リンデ教授は弘岡先生の熱意に打たれ、イエテボリ大学としては初めての外国人大学院生として研究室に迎え入れ、博士号を授与しまし

た。弘岡先生は学位取得後、日本に戻って再び開業され、診療だけでなく著作に励み、講演を精力的に行つて、スウェーデンで培った歯周病治療および予防方法を日本の歯科界に広めていま

す。弘岡先生は、現在の日本歯

う。また、SDCに勤務する衛生士の加藤さんもスウェーデンに留学した経験を持ち、現在も頻繁にスウェーデンの研修に参加し、弘岡先生から絶対的な信頼を得ています。また、加藤さん自身も様々な専門誌に投稿されたり、SDCに見学に来た衛生士さんの指導をされています。

「ひろまだより」で何度か紹介

しているように、ひろま矯正歯科では、熊谷崇先生（酒田市・日吉歯科）の提唱されるメデイカルトリートメントモデルに沿った担当衛生士制による予防歯科診療システムをベースとして矯正治療を行なっています。また、このシステムの安定化と効率化を目指し、国際標準規格である ISO9001も取得しました。しかし、リスクの高い症例に対する予防歯科では、歯科医師や衛生士各人のより高いレベルの診療技術や知識が必要となります。そこで、私は歯周病治療の権威である弘岡先生

に師事し、講習会に参加させていただき、より高いリスクの患者さんへの対応を行なえるよう研修をしているのです。

日本の歯科医師向け講習会の多くは、歯科器材の販売を目的とした業者主導の講習会で、「明日から診療に導入できる○○テクニク！」といった安易なセミナーが多く見受けられます。しかし、弘岡先生のセミナー

は、このようなセミナーとは一線を画し、少人数制で約1年間の長期に亘る実技指導、世界で認められる重要な論文を用いた科学的根拠に基づく治療（EBM: evidence-based medicine）の実践方法、講習に参加する歯科医師だけでなく医院のスタッフに対する指導やSDCの見学も実施しています。私はこのセミナーに参加させていただいて2期目（2年目）となりました。

SDCの見学は副院長もさせていただき、矯正治療と歯周治療を結びつける事で矯正治療の限界を引き上げる事ができる事、より多くの方の口腔内環境を大きく改善できる事を教えていただきました。今回は、当院の衛生士がSDC見学を行い、非常に良い刺激を受けて帰ってまいりましたので、その感想をご報告します。



1期目の研修の修了式で弘岡先生と



SDC衛生士の加藤さんと書間直未



弘岡先生と書間康明、書間直未